

献辞

私たちが敬愛する金丸輝男先生が二〇〇〇年一月二五日に急逝されました。法学部教職員・学生一同とともに先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

先生は、一九五八年三月、同志社大学法学部政治学科を御卒業になり、その後、同大学院法学研究科政治学専攻を経て、一九六二年、同志社大学法学部助手に就任され、教員としての生活のスタートを切られました。その後、専任講師、助教授を経て、一九七六年四月に教授に就任され、ただちに同年八月から一年間ベルギーに留学され、帰国後は大学院法学研究科政治学専攻博士前期・後期課程教授を経て、一九八七年度には法学部長として法学部・大学院の発展に尽力されました。先生は学会活動にもきわめて御熱心でありました。とりわけ、一九九一年から二年間お勤めになりました日本EC学会理事長は先生の多くの御活躍の中で特筆すべきものでありました。

先生は、日本ではまだその重要性があまり認識されていなかった一九七〇年代に、いち早くEC（現在のEU）統合の政治経済的重要性に着目し、多くの論文・著書を執筆してこられました。また、現在の同志社大学のEU資料センターの充実も先生なくして実現できるものではありませんでした。

先生は、国際政治学という国益等の衝突する激しい学問領域が御専門でしたが、性格はきわめて温厚で、私たち後輩にもいつもやさしく声をかけて下さり、教職員・学生に先生のファンは大勢おりました。不幸にして病を得てお亡くなりになりましたことは返すがえすも残念でなりません。

ここに、先生にお世話になった方々、先生を敬愛する方々の論文集を先生の御霊前に捧げ、先生の長年にわたるご恩に対し心から感謝申し上げます。

二〇〇二年三月

田 井 義 信

法学部長